

## ○池見東京医療専門学校 実習体験会の様子と生徒の感想



(左) 正門に看板を出していただきました。



(右)  
ダイアライザを触らせていただきました。

## ☆参加した生徒の感想生徒から池見東京医療専門学校の方へのお礼と感想

### 1年 H.Rさん【医療実習①「ろ過・分離」】

今までに透析装置は見たことがありましたが、どのようにろ過をしているのかわかりませんでした。「ダイアライザ」という器具を初めて近くで拝見しました。中にはたくさんの繊維が入っていて、講師の方から「繊維の中にはさらに空洞があるんだよ」と言われて驚きました。また、透析装置を実際に触らせていただき、管がたくさんあることに気づきました。私は体内の血液を循環させるだけであれば2本くらいで十分ではないのかと思いましたが、患者さんの体内に空気が入らないようにするための「気泡トラップ」があったり、電解質や酸・塩基バランスを正常化するための「透析液」が使われていたり、様々な工夫がされていることが分かり、とても興味深く感じました。コーヒー牛乳をろ過する実験では、本当にコーヒーだけをろ過できるのか疑問に思っていたのですが、ダイアライザから出てきた液体はコーヒーだけでした。この装置があることで腎臓が悪い患者さんが助けられているのだと考えると、医療のすごさを実感しました。

### 2年 U.Hさん【医療実習②「ベッドサイドモニタ」】

ベッドサイドモニタで、自分の心電図、心拍数、脈拍を調べる体験をしました。心電図は揺らしたり、力を入れたりしてしまうと、ノイズが入って測りにくくなってしまったことが分かりました。また、血圧計やパルスオキシメーターも使わせていただきました。血圧測定の際には、腕をまっすぐにしないと正確な血圧が測れません。わざと腕を上げたり下げたりすることで、正しく測れないことを実感しました。

高くなったり、低くなってしまう。酸素濃度も少し息を止めただけで、かなり数字が下がってしまったりなど、実際の検査の時に間違った方法で検査してしまうとどれだけ結果に差が出るのかわかることが出来たのがすごく良かった。また、酸素濃度が通常が98ぐらいで90を下回るレベルになるとかなり呼吸が苦しくなってしまうから、少しの数字の変化で患者がどれだけ苦しんでいるのかも知れる機会になった。

### 2年 A.Sさん【医療実習③「腹腔鏡手術」】

腹腔鏡手術用の模型を使って手術の体験をしました。1人がカメラ役（臨床工学技士）、もう1人が医師役となり、細かい作業を行いました。手術が難しいことは知っていましたが、実際に体験してみるとその難しさがよく理解できました。特に、医師役を体験した際に、カメラ役の人が少し画角をずらすだけで格段に作業しづらくなったことが印象的で、カメラ役が正確に仕事をすることの重要性が分かりました。二人で協力して作業することはとても楽しかったのですが、実際に患者さんを目の前にしての手術という緊迫した中で成功させることの大変さを実感しました。

## 1年 I.Nさん【工学実習④「雑音除去」】

音源からノイズを取り除く実験をしました。3種類の電子回路を使いましたが、ノイズが取り除かれる回路とそうでない回路がありました。少し回路を変更しただけで、ノイズの取り除き方を変えることができると知り、とても興味が湧きました。心電図を測る際に、ノイズが入ってしまうことで正しい結果が出ないと患者さんにとって不利益な状況となります。そのため私は、正しく測定できるような仕組みを作れるのはかっこいいと思いました。私は工学系の分野は全く勉強がしたことがないので難しいそうだと感じる反面、勉強してみたい、調べてみたいと思いました。



ベッドサイドモニタ実習の様子



工学実習の様子

## ☆生徒から池見東京医療専門学校の方へのお礼と感想

### 1年 I.Nさん

この度は、池見医療専門学校の学校見学の機会を設けていただき、誠にありがとうございました。実際に校内を見学し、ろ過・分離やベッドサイドモニタ、腹腔鏡手術、雑音除去などの体験を通して、医療の現場で使われている技術や機器について深く知ることができました。どの体験も分かりやすく説明していただき、医療の仕事の大切さや責任の重さを実感しました。今回の見学で学んだことは、今後の進路を考えるうえで大変貴重な経験となりました。お忙しい中ご対応いただいた学校関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

### 2年 U.Hさん

4つの実習を通して、臨床工学技士という仕事が、高度な医療機器を駆使して「いかに患者さんの命と安全を支えているか」を肌で感じることができました。

特に印象に残ったのは、ベッドサイドモニタの体験です。自分の呼吸や姿勢ひとつで数値が大きく変動することを知り、わずかな数字の変化で患者さんの苦しみに気づける視点の大切さを学びました。また、腹腔鏡手術や透析、回路による雑音除去の体験では、医学的な知識だけでなく、精密な工学技術が医療の現場を支えていることが分かりました。

本日は、貴重な実習体験の機会をいただき、誠にありがとうございました。

### 2年 M.Sさん

池見東京医療専門学校の皆様へ。

今回の実習で、臨床工学技士として働く方々が、健康状態や病気を調べるための医療機器の点検・調整等を行っているということを知りました。現代の医療には欠かせない存在であり、その技術の高さや知識の多さに圧倒されました。

私は医療の道に進みたいと考えており、臨床工学も興味があります。そのため、今回の実習体験会はとても楽しく、良い体験でした。ありがとうございました。